

尊い命を火災から守るために（高齢者を火災から守ろう！）

住宅火災における死者のうち過半数は高齢者です。

川崎市において発生した火災により亡くなった方の
半数は65歳以上の高齢者です。

いま一度、地域及び御家庭内における火災予防対策と災害時の行動について
話し合いの時間を設け、防災と減災について、
考えていただきますようお願い申し上げます。



火災を防ぐ5つのポイント



- ① 電化製品のコードを束ねて使用していませんか？
★束ねられたコードは中が切れている場合があります。束ねての使用はやめましょう。
- ② 石油ストーブを消火せずに給油していませんか？
★点火した状態での燃料の給油は大変危険です！！
- ③ 調理中、衣服のことを気に掛けていますか？
★長袖を着用して火を扱うときには、袖回りに注意しましょう。
- ④ 住宅用火災警報器を設置していますか？
★住宅用火災警報器は、火災を早期に発見し、近隣の方へも知らせることができます。
- ⑤ ご近所で声を掛け合っていますか？
★火災や大規模災害時の安否確認は、ご近所の情報が一番有力です。民生委員の方や地域のボランティアとの協力体制なども築いておきましょう。

火災の危険から命を守る～煙の特徴って何だろう～

- 1 火災は有毒ガスを含んだ煙が発生します。一番多く発生するのが一酸化炭素です。一酸化炭素は酸素の250倍も血液中のヘモグロビンと結合しやすいのです。このため酸素が血液中に運ばれなくなり一酸化炭素中毒が起きますのです。
- 2 煙の速度は垂直方向に早く、水平方向に遅いのです。垂直方向の拡散速度は毎秒3メートルから5メートル、水平方向の拡散速度は毎秒0.3メートルから0.5メートルです。
- 3 煙は視界を減少させます。火災を感知し煙感知器のベルが鳴動する時の視界はおおよそ20メートルくらいになります。人は視界が遮られると心理的動揺が大きくなります。
- 4 火災時の煙は熱により高温になっています。不用意に吸ってしまうと気道等の熱傷を起し気道を塞いでしまいます。



?

